

美術 I レポート4 取り組みのヒント

★スクーリングには、必ず 画用紙(八切りサイズ程度 2枚以上)と水彩絵具一式

を用意して来てください!

準備がないと受けられない場合があります!

レポート4では、実際に「水彩画の技法(描き方)」に挑戦します。

ここでは教科書に載っている技法のうち、レポートで指定された4つの技法について説明します。参考にして取り組んでください。

★余裕のある人は1つの技法につき何枚か、色や様子の違うものを作っておくと「レポート5 コラージュ」の作品がより充実したものになります。

★切り取ってレポートに貼りつけた後の残りは、「レポート5」で使うと便利です。
捨てないで残しておいてください。

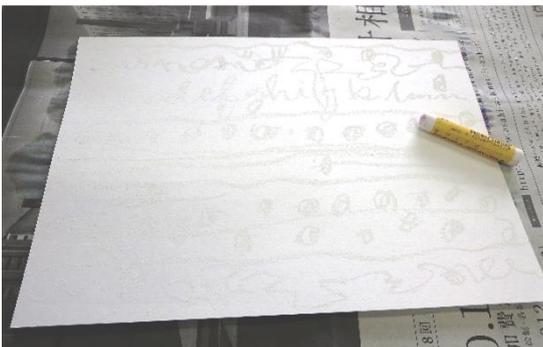
★(準備物)・画用紙(八切りサイズ程度 2枚以上)、水彩絵具、筆、雑巾

…八切りサイズはレポートくらいの大きさです。

必ず自分で用意して来てください。

・水入れ、パレット、クレヨン … スクーリングでは貸出用があります。

1. バチック(P.133) … クレヨンなどで描いた上から水彩絵の具を塗る。



・全体にクレヨンで線や模様、記号などを描きます。
あまり具体的な絵柄ではないほうが良いでしょう。

・クレヨンで描いた上から絵の具を塗ります。
水分は多めの絵の具の方が、
クレヨンで描いた線が現れやすいかもしれません。

・あらかじめ絵の具を塗って乾かしたところに、
ろうそくなどで模様を描き、
もう一度絵の具を重ねて塗っても
複雑で面白い効果が現れます。いろいろ試してみましょう。



部分を
拡大すると

2. ドライブブラシ (P.133) … かすれの表現。



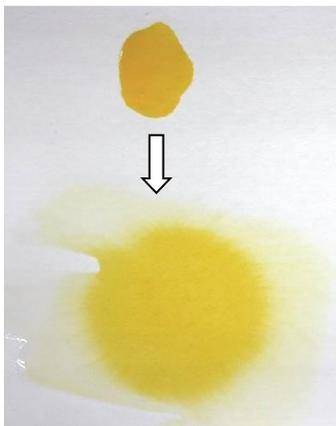
- 少し毛の固めの平筆の方が描きやすいです。
穂先を開いてからやるとうまくいきます。

はじめからうまくかすれるか分からないので、新聞などで試すとよいでしょう。
何色も重ねると面白い効果が出ます。

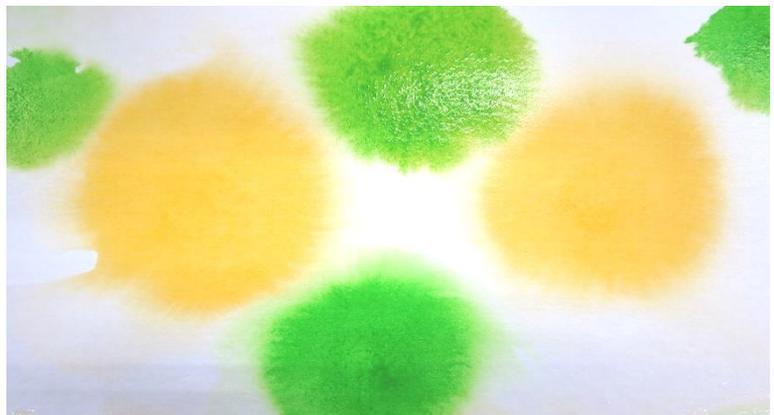


部分を
拡大すると

3. ウェットインウェット (P.133) … にじみの表現。



- 塗った絵の具が乾かないうちに、
周囲に水を引くと輪郭がにじんで、
柔らかい表現になります。



- うましくないときは絵の具を塗る前に水を塗ってから、
絵の具を落とすようにして塗っても構いません。
何色も重ねると、深い色調になり面白いです。

4. ドリッピング (P.138) … 薄めに溶いた絵の具を上から垂らす。

- 強く勢いよく筆を振ると
大きなしぶきができます。
筆を棒などに当てて
小刻みに叩いて落とすと
細かなしぶきができます。
- 濡れた状態で重ねると色が混じり合います。
乾かしてから重ねる方法もあります。
試してみてください。

